

アントレプレナーの生き方（7）

～渋沢栄一翁、兜町金融街構想と平和不動産による再活性化プロジェクト～



現在の「東京証券取引所」写真
【提供 平和不動産(株)】

渋沢栄一翁は、欧州での視察経験から、合本主義の仕組みを日本に取り入れて株式会社をつくっていくためには、株式取引所の開設が必要不可欠であると考えていました。

そして1878(明治11)年、渋沢栄一翁は自らと従兄の渋沢喜作を発起人として東京株式取引所の設立を出願し、大隈重信から免許を公布されます。仲買人76人、取引所職員14人という小さな取引所が日本で初めて開設された瞬間でした。これが、現在の東京証券取引所です。渋沢栄一翁は、兜町一帯に近代的な金融街をつくろうと構想し、東京証券取引所や第一国立銀行を創設しました。

なお、渋沢栄一翁は当初深川に住んでいましたが、兜町への往復の時間を惜しみ、兜町に転居しました。その兜町の渋沢栄一翁の邸宅跡に建つ「日証館」に本店を構えるのが、「平和不動産」という会社です。1947年にGHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の命令に基づき設立された平和不動産は、東京証券取引所をはじめ、大阪、名古屋、福岡の各証券取引所の建物を保有し、全国でビル賃貸事業を展開している総合不動産会社です。

江戸時代、この兜町には、隅田川や東京湾を用いて幕府を攻撃しようとする脅威から江戸を守る軍事拠点として、武家屋敷が配置されていました。渋沢栄一翁の兜町邸は、のちに東京駅を手がけた建築家・辰野金吾が設計し、清水組(現清水建設)が施工した洋館でした。水運が盛んであった当時、日本橋川の沿岸は交通の要所で

あり、渋沢栄一翁は兜町を水都にしようという構想をもっていました。渋沢栄一翁が飛鳥山邸に本館を移したのち、兜町邸は事務所として使用されていましたが、関東大震災で焼失。その跡地に、東京株式取引所(東京証券取引所の前身)の貸事務所棟として「日証館」が建てられました。

現在、平和不動産は、東京都が構想する「国際金融都市・東京」の一躍を担う企業として、「日本橋兜町・茅場町再活性化プロジェクト」を進めています。かつての兜町は背広に身を包んだ証券マンで賑わう街でした。1999年に東京証券取引所の立会場が閉鎖されると、株式の売買取引は電子化し、証券マンで溢れる活気ある光景は見られなくなりました。再開発では「人が集い、投資と成長が生まれる街づくり」をコンセプトに、働く人、暮らす人、滞在する人など様々な人が行き交うカラフルな賑わいを創出したいというコンセプトの下、日本橋兜町・茅場町の街づくりが行われています。



日証館 全景写真【提供 平和不動産(株)】

ここからは、平和不動産のプロジェクトを紹介いたします。



【KABUTO ONE】

2021年8月、兜町に街の新たなランドマークビル・KABUTO ONEが開業しました。1階アトリウムに世界最大規模のキューブ型LEDディスプレイ「The HEART」を整備。低層階には、投資家と企業の対話交流拠点となるカンファレンス「KABUTO ONE HALL&CONFERENCE」、ライブラリー・ラウンジ「Book Lounge Kable」、大型フードホール「KABEAT」、コミュニティカフェ「KNAG」等を導入。開業後は、金融・投資に関連したイベント等が開催され、街の新たなランドマークビルとして地域の賑わい創出及び活性化に貢献しています。

KABUTO ONE 全景写真
【提供 平和不動産(株)】



KITOKI 写真
【提供 平和不動産(株)】

【KITOKI】

2022年4月、国土交通省の「令和2年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」の採択事業として、「KITOKI」が竣工されました。オフィス内の木質化のみではなく、バイオフィリックデザイン（＝「人間にはもともと生物や生気に引きつけられる心理的傾向がある」というバイオフィリア仮説に基づいた空間デザインの手法のこと）を取り入れ、より心地よく働ける環境を創出。

都市における木材活用の可能性を拓く取り組みとして、2022年には、「2022年グッドデザイン賞」「ウッドデザイン賞」「令和4年度木材利用優良施設等コンクール優秀賞」をトリプル受賞。さらには、2023年に「ウッドシティ TOKYO モデル建築賞」で「最優秀賞（知事賞）」を受賞しました。



キャプション by Hyatt 兜町東京
【提供 平和不動産(株)】

【キャプション by hyatt 兜町 東京】

2025年開業予定の「キャプション by Hyatt 兜町 東京」は、米国のホテルグループハイアットの最新ライフスタイルホテルブランドです。木造ハイブリッド構想の一棟建ホテル開発計画であり、2023年4月に着工。外資系ホテルブランドにより運営される木造ハイブリッド構造の宿泊施設として初めて、国土交通省の「令和4年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）」に採択されました。

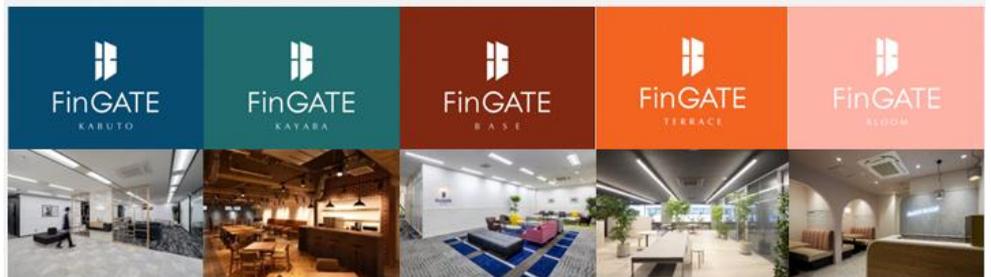
【FinGATE】

「FinGATE」は、「コト始めの街」日本橋兜町・茅場町エリアを拠点にした金融系スタートアップ向けインキュベーション事業です。

独立系資産運用会社・Fintech 企業を中心とした金融系スタートアップ等、2024年12月末時点で100社超が入居し、国内最大級の金融系スタートアップの集積地としての地位を確立しました。

2016年6月に、海外金融事業者に対する一元的な相談窓口である金融庁・財務局の「拠点開発サポートオフィス」が「FinGATE TERRACE」に拠点を開設しました。

2023年9月に「FinGATE BASE」を拡張整備、同年10月にコミュニティ活動拠点「FinGATE CLUB」を新規開発しています。



FinGATE に関する写真【提供 平和不動産(株)】

近代の金融街を築こうと奔走した渋沢栄一翁から現代に至るまで、日本の資本主義を支えてきた兜町。街に新たな息吹をもたらし、未来の街づくりに大きく貢献している平和不動産は、正に渋沢栄一翁のアントレプレナーシップの精神を受け継ぐ企業といえるでしょう。